

15 学習活動の充実

①施策の展開	学習環境の整備・充実	課名	社会教育課 地域教育振興課
②取組概要	あらゆる年齢層に応じた様々な学習機会や、多様な方法による学習情報の提供を行う。また、市民の学習活動の普及促進をめざし、指導者養成に努める。		
③構成取組	(1) 生涯学習推進事業 (2) 社会教育施策推進事務 (3) 施設管理事業（教育センター、中央公民館、エスポアール） (4) 成人式事業		

④取組計画	<p>(1) 市民の生涯学習活動を支援するため、学習情報の提供の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>まちのせんせい</u>⁽²⁸⁾ 活用事業を積極的に推進するため、実践発表会等を行い、市域での周知に努めるとともに、派遣回数増加をめざす。 ・ 成人教育講座事業については、市立校園PTA協議会や各コミュニティセンター、ふらっとねやがわと連携しながら、市民ニーズに合致したテーマでの学習機会の提供を図る。 <p>(2) 「社会教育推進計画」の策定に向け、ニーズ調査を行うとともに、社会教育委員会に専門部会を設置し、協働して審議・調査を行う。</p> <p>(3) 教育センター及び中央公民館、エスポアールにおいては、<u>指定管理者</u>⁽²⁹⁾による効率的・効果的な管理運営に努める。また、指定管理期間満了となるエスポアール・教育センターの次期指定管理者を選定する。</p> <p>(4) 例年どおり早い段階から実行委員会を組織し、内容の更なる充実に努めるとともに参加者の増加を図る。</p>
-------	--

⑤取組実績

(1) 市民の生涯学習活動を支援するため、各種講座やイベントの行政情報を提供する「講座・イベント編」、学習活動を行う団体やサークルの情報を提供する「団体・サークル編」の2種類の生涯学習情報誌（ねやがわ生涯学習あんない）を発行した。

<生涯学習情報誌発行数・掲載情報数>

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
発行冊数	5,700 冊	5,700 冊	5,700 冊
掲載団体数	916 団体	924 団体	938 団体
掲載講座数	796 講座	772 講座	711 講座

- ・ まちのせんせい活用事業では、新たに 13 名が登録した。また実践発表会やまちのせんせいまつりを行い、保育所・幼稚園・小・中学校・福祉施設等へ積極的にPRを行った。

<事業参加状況>

	項目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
まちのせんせい 養成活用事業	延べ登録者数	106 人	122 人	107 人
	派遣依頼件数	142 件	154 件	103 件
	派遣人数	136 人	151 人	98 人
	主な指導内容	マジック・人形劇・自然・手作り工作・他 74 種別		
成人教育講座	延べ参加者数	651 人	889 人	776 人

(2) 社会教育施策の充実を図るため、社会教育委員会議を年 4 回開催した。また、社会教育推進計画素案の作成にあたり、基礎資料とするため、寝屋川市在住の 18 歳以上の市民 2,000 人を対象に市民意識調査及び、社会教育関係団体等のヒアリングを実施するとともに、委員の自主的な学習会を 6 回、調査・審議を行う専門部会を 4 回、役員会を 8 回開催し、検討を重ね社会教育推進計画素案を作成した。

(3) 指定管理者による効率的・効果的な管理運営を行うとともに、より適正な管理運営となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等に基づき、実績検証を実施した。

- ・ 教育センターの事業については、「子どもデイサービス事業」「生涯学習事業」「イベント事業」を実施した。文化講座では陶芸講座を実施し、高齢者の利用促進事業として「楽しく体操」等市民ニーズに合った講座を実施した。
- ・ 教育センターについては、公共施設等整備・再編計画の対象施設として現行事業の検証を行い、耐震及び老朽化改修による費用対効果を勘案し、廃止の方針を決定した。

<教育センターの利用者数>

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
事業参加者数	47,888 人	56,128 人	56,111 人
貸館利用者数	19,771 人	20,008 人	26,287 人

- ・ 中央公民館の事業については、「市民大学」「寿楽学級」など従来から実施している講座の充実を図るとともに、子どもを対象とする「キッズダンス」などの新規事業を実施した。
- ・ 利用者が施設を快適に利用できるよう、中央公民館講堂の舞台照明設備改修工事を実施した。

<中央公民館の利用者数>

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
事業参加者数	20,004 人	17,565 人	19,141 人
貸館利用者数	154,000 人	169,011 人	201,704 人

- ・ エスポアールの事業については、「青少年成人事業」「児童健全育成事業」「親子ふれあい事業」「世代間交流事業」「子育て支援事業」を実施した。サークル活動の活性化をはじめ、アンケートの結果を受け、講座数を増やすとともに、講座の定員を増員するなど、改善を行った。
- ・ 平成 26 年度から 5 年間の指定管理者を選定委員会を経て指定した。

<エスポアールの利用者数>

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
事業参加者数	112,027 人	112,312 人	146,438 人
貸館利用者数	105,864 人	104,852 人	105,494 人

- (4) 一般公募等で実行委員会を組織し、実行委員自らが企画・立案に関与でき、自らの手で作り上げていくことができた。また、寝屋川リーダーズの高校生も当日はスタッフとして参加し、事業を手伝うことで将来の担い手の育成にも繋げることができた。

<成人式参加状況>

	項目	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
成人式	対象者数	2,325 人	2,392 人	2,297 人
	参加者数	1,406 人	1,413 人	1,384 人
	参加率	60.5%	59.1%	60.2%

⑥評価

- (1) 市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習情報誌を発行するとともに、その内容をホームページに掲載し、幅広い情報提供を図ることができた。
- ・ まちのせんせいの登録者に今後の活動に関する意向調査を行った結果、高齢である等の理由で 28 名の辞退者があり、派遣依頼に応じることができず、実績が減少することになった。今後は早急に人材育成に取り組む必要がある。
 - ・ 成人教育講座については、コミュニティセンターと連携することで、その地域におけるニーズに合致した講座を開催することができ、また参加者は高齢者が多く、地元での開催に好評を得ている。
- (2) 社会教育推進計画素案を作成する過程の中で社会教育施策

の課題・方向性について委員学習会で学習を重ね、夢を育むひとづくりについて、社会教育委員としての共通認識を深めることができた。また、専門部会では社会教育の推進に関する調査・審議を行い、市民協働による社会教育推進計画の策定事務を進めることができた。

(3) 教育センター及び中央公民館、エスポアールにおいては、引き続き指定管理者による管理運営を行うとともに、実績検証を実施し改善等を指示するなど、より適正にかつ効果的・効率的な管理運営となった。平成26年度で中央公民館の指定管理期間が満了になるため、指定管理者の指定に向け、事務を進める必要がある。また、平成25年度は市民体育館の耐震補強等工事に伴い、施設の貸館利用者数が一時的に増加した。

- ・ 教育センターについては、施設の在り方を検討し廃止の方針を決定したが、事業については、近隣施設への集約等の検討が必要である。(利用者満足度 98.5%)
- ・ 中央公民館については、新規事業の実施や利用団体の育成・支援をより一層充足したことにより、新たな利用を促進した。(利用者満足度 93.7%)
- ・ エスポアールについては、2期目の指定管理者の指定を行った。アンケートによる事業内容の充実等により、事業参加者数は大幅に増加している。(利用者満足度 94.5%)

(4) 新成人が実行委員会を組織し、運営する成人式も定着してきており、実行委員には新成人としての自覚と責務を感じてもらうことができた。また第2部の内容を更に充実するために、新成人のニーズを反映させたプログラムの実施を検討していく。